

科目	保健体育科教育法Ⅰ	担当	高須 博	履修学年	2年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

学校体育における教育の目指す方向は、心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と適切な運動の経験や合理的な実践を通して、生涯を通じてスポーツに親しむ資質や能力を育成することにある。そうした中、体育分野では体力の低下や運動の二極化傾向が深刻な状況であるだけに、これらの問題をいかに解決していくか、体育の授業改革としての期待が寄せられており、体育教師の力量が大きく問われている。

そこで、「体育の授業の意義と役割」について正しく認識し、生徒一人一人の能力、適性、興味・関心等の状況に即した指導のあり方、小学校、中学校、高等学校を見通した系統性のある指導計画づくりができるようにする。

【履修注意】

体育の授業づくり及び指導法の学習であるので、常に子供の側にたった考えで授業に臨むようにする。

全出席すること。1/3以上の欠席は単位を認めない。(遅刻2回は、欠席1回とする)

本科目は教職課程(保健体育)の必修科目であり、教職課程を目指す者のみ必修である。

【評価方法】

試験、授業レポート及び実技の内容によって評価する。

【試験について】

筆記試験及び実技(第一ラジオ体操)試験を行う。

再試験対象者の条件: 不合格者のうち、課題レポートがすべて提出され、筆記試験が40点以上の者

【予習・復習】

学修時間は1単位45分が文部科学省指針である。2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要である。その内容を講義の都度指示するので、次の講義時に提出する。

【教科書】

書籍名: 中学校学習指導要領解説 保健体育編 著者: 文科省 出版社: 東山書房

【参考書】

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	オリエンテーション	教育法のねらいと履修上の注意・総則の理解
2	保健体育科の役割1	学校教育における保健体育科教育と体育科教師の役割
3	保健体育科の役割2	保健体育科教育における教師の役割と実状
4	体育科教育の歴史	体育科教育の変遷と今後の方向性
5	新学習指導要領の理解1	学習指導要領の変遷と改訂の趣旨
6	新学習指導要領の理解2	新学習指導要領における保健体育科の目標と内容
7	実技1	第一ラジオ体操と集団行動の習得
8	実技2	第一ラジオ体操と集団行動の指導方法
9	実技3	第一ラジオ体操と集団行動の発表と評価
10	新学習指導要領の理解3	新学習指導要領における体育分野の内容の取り扱いについて
11	新学習指導要領の理解4	新学習指導要領における保健分野の内容の取り扱いについて
12	年間指導計画の作成1	体育分野の年間計画の作成
13	年間指導計画の作成2	保健分野の年間計画の作成
14	教材研究と授業づくりの実際	運動の特性と指導法
15	教材・教具の作り方	楽しい体育の教材・教具の工夫
16	まとめ・期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ試験の実施